

昭和52年度派遣前専門家等中期研修  
社会開発コース実施要領

国際協力事業団

1. 研修の目的

我が国の発展途上地域等に対する社会開発技術分野の国際協力の円滑な実施に資するため、我が国の社会開発協力技術専門家等に対し、海外における国際協力に必要な基礎知識、語学等について研修を行うものとする。

2. 研修場所

国際協力事業団語学研修室（東京都新宿区市ヶ谷本村町42経済協力センタービル内）及びその他の施設

3. 研修期間

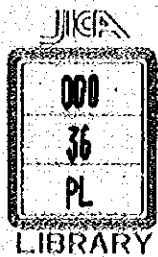
昭和52年9月12日（月）から昭和52年11月26日（土）まで  
（76日間）

4. 定員

25名

5. 研修課程及び日程

別紙のとおり、一般研修、語学研修及び専門研修に分けて行う。



## 6. 研修受講の資格

将来開発途上地域等における社会開発協力事業に専門家等として派遣が予定される者で、かつ、社会開発分野の技術者としての能力を有すると認められる者であって、次の各号に該当するもの

- (1) 年 令 おおむね 30～45才
- (2) 学 歴 短期大学を卒業した者、又はこれと同等の社会開発分野の知識を有すると認められる者
- (3) 経 験 原則として5年以上の実務経験を有するもの

## 7. 受講申込み

研修を受けようとする者は、次により必要書類を添えて昭和52年8月25日までに事業団あてに申し込むこと。

申し込み及び連絡先：国際協力事業団社会開発協力部海外センター課

電話 東京03-346-5206

(担当者 榎下)

- (1) 民間企業及び地方公務員等の場合：

所属先の下承を取り付けた上申し込むものとする。

- (2) 国家公務員の場合：

所属先より推せんされるものとする。(別紙様式2)

なお、上記(1)、(2)の場合とも下記書類を添えて申し込むものとする。

- ① 研修申込書 別紙様式1によるもの 1通
- ② 履 歴 書 市販用紙B5判又は所属先のもの 1通
- ③ 写 真 3カ月以内に撮影の上半身無帽のもの(名刺半切)

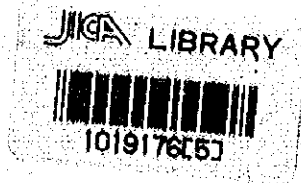
1枚（裏面に氏名を記入のこと）

8. 必要経費の負担

事業団は受講に必要な経費（旅費及び教材費等）を負担する。

9. 修了証書

事業団は所定の研修課程を終了した者に対し修了証書を交付する。



国際協力事業団		87
受入 月日	82. 8. 84. 5-22	000 47
登録No.	06682	(36) PL

様式 1

昭和 年 月 日

派遣前専門家等中期研修受講申込書

国際協力事業団

理事 村上 謙 殿

所 属 先

所属長氏名



下記のとおり派遣前専門家等中期研修を受けたいので、必要書類を添えて申し込みいたします。

記

1. 研修コース名

2. ふりがな氏名

(明治 年 月 日生)  
(大正 昭和

3. 現 住 所

電話番号

4. 勤 務 先

電話番号

5. 専 門 技 術

様式 2

文書番号

年 月 日

国際協力事業団

理事 村 上 謙 殿

所属先及び  
所属長氏名

㊦

派遣前専門家等中期研修受講者の推せんについて

このことについて下記の者を適当と認め推せんする。

記

受講研修コース名 ( )

氏 名	年 令	所 属	所属部課 係 名	最終卒業 学校名及び 卒業年次	採用 年次	専門分野	備 考

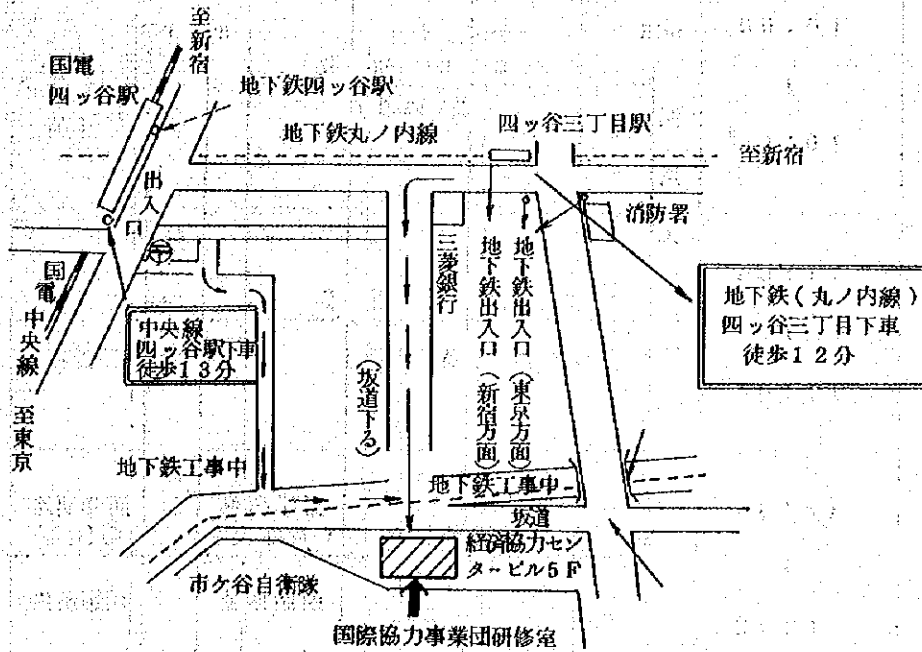
研修科目及び時間数

項目 区分	科 目	時 間 数				全体の中 に占める 割合%	備 考
		講 義	実 地 研 修	その他	小 計		
一 般 研 修	開講式，閉講式			4	4		全研修時間数 252時間 但し，その 他討論，映 画等の時間 数は除く
	経済協力の概要 発展途上国地域の一般 概論 専門家としての心構え 等	10 12.5 5			10 12.5 5		
	小 計	27.5	0	4	31.5	12.5%	語学研修 50.4% 専門研修 37.1% 一般研修 12.5%
語 学 研 修	英(西)語基礎会話等	104.5			104.5		
	英作文(含レポート 西語研修(作成法))	22.5			22.5		
	小 計	127.0	0	0	127.0	50.4%	
専 門 研 修	社会開発協力事業	20			20		
	開発基礎，応用理論	17.5			17.5		
	経済開発計画	10			10		
	プロジェクト評価研究 中間・最終エバリュエ ーション	5		5	5		
	研修旅行		27		27		
	実地研修		9		9		
	小 計	52.5	36	5	93.5	37.1%	
合 計		207.0	36	9	252	100%	
その他(討論，映画等)				105			

(参考)

研修場所略図

所在地 東京都新宿区市ヶ谷本村町4番地  
経済協力センタービル 5階  
国際協力事業団研修室  
TEL 東京03-353-8312  
(研修期間中の電話)



研修に関する連絡先

国際協力事業団社会開発協力部

電話 東京03-346 { 5206 担当 { 三浦課長  
5205 大谷課長代理  
5204 榎下

〒160 東京都新宿区西新宿2丁目1番地  
新宿三井ビル内私書箱216号

研 修 日

研修コース	時間	研 修								
		時期	9 月			10 月				
		月	第3週	第4週	第5週	第1週	第2週	第3週		
		週日	⑫…18	⑬…25	⑭……………2	⑮…9	⑯…16			
社会 開発 コース	10:00	開 講 式	9/12					10/7 10/8		
	10:55			語学研修 (英・西語)				現	語 (英	
	11:05				語学研修 (英・西語)			地	語	
	12:00							研	(英	
	13:30				一般研修		語学研修 (英作文)		語学研修 (英作文)	
	16:00						西語研修		西語研修	
16:05			討論, 映画等							
17:00										



程 概 要

時 期		11 月					備 考
月	第4週	第5週	第1週	第2週	第3週	第4週	
	⑰…23	⑳…31	1…6	⑦…13	⑱…20	㉑…㉔	
				11/7	11/12		11/26
	学 研 修			研 修 旅 行 ( 現 地 研 修 )	語 学 研 修		閉 講 式
	・西語)				(英・西語)		
	学 研 修				語 学 研 修		
	・西語)				(英・西語)		
	專 門 研 修				專 門 研 修		
	討 論 , 映 画 等			討 論 映 画 等			

研 修

日 数	月 日	時 間 日 曜	科 目 講 師	午		前	
				10:00 ~ 10:55		11:05 ~ 12:00	
				科 目	講 師 名	科 目	講 師 名
1	9月12日	月		開 講 式		諸 連 絡	
2	13日	火	語 学 研 修	語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)	
3	14日	水		"		"	
4	15日	木					
5	16日	金		語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)	
6	17日	土		"		"	
7	18日	日					
8	19日	月		語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)	
9	20日	火		"		"	
10	21日	水		"		"	
11	22日	木		"		"	
12	23日	金					
13	24日	土		語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)	
14	25日	日					
15	26日	月		語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)	
16	27日	火		"		"	
17	28日	水		"		"	
18	29日	木		"		"	

(注) 講師の都合により日程等を変更することがあります。

日 程

		午		後		備 考
		13:30 ~ 16:00		16:05 - 17:00		
	講 義 名	講 師	所 属	科 目		
	英会話クラス分けテスト			諸打合わせ		
一 般 研 修	事業団の組織と機能・専門 家派遣制度	白石 孝彦	JICA技術者管理課 長	討議,映画等		
	国際協力の意義とその推 移	久宗 高	JICA副総裁	"		
	わが国の経済技術協力	瀬崎 克己	外務省経済協力第二 課長	"		
	国際協力と国際機関	長谷山 崇彦	アジア経済研究所	"		
	発展途上国の宗教と社会	佐藤 良純	大正大学助教授	"		
	日本人の精神構造	樋口 清之	国学院大学教授	"		
	専門家としての心構え	鳥羽欽一郎	早稲田大学教授	"		
	地域概論 ①東南アジアの現状と動向	今川 瑛一	アジア経済研究所	"		
	" ②中東の現状と動向	糸賀 昌昭	"	"		
	" ③アフリカの現状と動向	安藤 勝美	"	"		
" ④中南米の現状と動向	G.アントラーデ	上智大学教授	"			

日 数	月 日	時 間 日	科目 講師	午 前			
				10:00 ~ 10:55		11:05 ~ 12:00	
				科 目	講 師 名	科 目	講 師 名
19	30日	金	語 学 研 修	語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)	
20	10月 1日	土		"		"	
21	(2)日	日					
22	3日	月		語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)	
23	4日	火		"		"	
24	5日	水		"		"	
25	6日	木		"		"	
26	7日	金	現 地 研 修	現 地 研 修			
27	8日	土		"	"		
28	(9)日	日	語 学 研 修				
29	(10)日	月					
30	11日	火		語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)	
31	12日	水		"		"	
32	13日	木		"		"	
33	14日	金		"		"	
34	15日	土		"		"	
35	(16)日	日					
36	17日	月		中 間 テ ス ト			
37	18日	火		語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)	
38	19日	水	"		"		

		午 後		備 考
		13:30 ~ 16:00	16:05-17:00	
	科 目	講 師 名	科 目	
語 学 研 修	英作文(含レポート作成法) 西語の魅力		討議,映画等	
	英作文(含レポート作成法) 西語研修		討議,映画等	
	"		"	
	"		"	
	"		"	
現 地 研 修				
語 学 研 修	英作文(含レポート作成法) 西語研修		討議,映画等	
	"		"	
	"		"	
	"		"	
専 門 研 修	社会開発協力事業 (全 般)	JICA社会開発協力部長 他	"	
	" (計 画)	計画課長 他	"	
	" (開発調査)	開発調査課長 他	"	

日 数	月 日	時 間 課 目 講 師 日	午 前				
			10:00 ~ 10:55		11:05 ~ 12:00		
			科 目	講 師 名	科 目	講 師 名	
39	10月20日	木	語 学 研 修	語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)	
40	21日	金		"		"	
41	22日	土		"		"	
42	(23)日	日					
43	24日	月		語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)	
44	25日	火		"		"	
45	26日	水		"		"	
46	27日	木		"		"	
47	28日	金		"		"	
48	29日	土		"		"	
49	(30)日	日					
50	31日	月		語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)	
51	11月 1日	火	"		"		
52	2日	水	"		"		
53	(3)日	木					
54	4日	金	語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)		
55	5日	土	"		"		
56	(6)日	日					
57	7日	月	現 地 研 修	研修旅行(関西,九州方面)			
58	8日	火		"			

		午	後	備 考
		13:30 ~ 16:00	16:05-17:00	
		科 目	講 師 名	科 目
専 門 研 修	社会開発協力事業 (開発調査)	開発調査課長 他	討議,映画等	
	" (海外センター)	海外センター課長 他	"	
	社会開発協力事業 (海外センター)	海外センター課長 他	"	
	" ( " )	"	"	
	" (質疑応答)	社会開発協力部	"	
	中間エバリュエーション		"	
	開発理論の系譜 (開発の定義等)		"	
	開発理論の系譜 (系譜戦略の変遷)		"	
	経済開発計画 (理論モデル)		"	
	" (経済体制論)		"	
	経済開発計画 (ケーススタディ,インド)		研修旅行打合わせ	
	現地研修	"		
	"			

日数	時間		午前			
	月日	曜日	10:00 ~ 10:55		11:05 ~ 12:00	
			科目	講師名	科目	講師名
59	11月9日	水	現地 研修旅行(関西,九州方面)			
60	10日	木	地			
61	11日	金	研			
62	12日	土	修			
63	(13)日	日				
64	14日	月	語学研修 (英・西語)		語学研修 (英・西語)	
65	15日	火	"		"	
66	16日	水	"		"	
67	17日	木	"		"	
68	18日	金	"		"	
69	19日	土	"		"	
70	(20)日	日	研			
71	21日	月	語学研修 (英・西語)		語学研究 (英・西語)	
72	22日	火	"		"	
73	(23)日	水				
74	24日	木	語学研修 (英・西語) (テスト)			
75	25日	金	" (Short Speech)			
76	26日	土	閉講式			



		午 後		備考
		13:30 ~ 16:00	16:05-17:00	
		科 目	講 師 名	科 目
現 地 研 修		"		
		"		
		"		
		"		
専 門 研 修				
		経済開発計画 (ケーススタディ, インドネシア)		討議, 映画等
		工業化問題 (輸入代替問題他)		"
		農業問題 (農村社会構造他)		"
		労働マンパワー (教育訓練雇用問題)		"
		技術移転 (開発途上国への技術移転)		"
		資源問題 (石油資源と他の一次産品)		討議, 映画等
		プロジェクトアプライザル (理論的背景)		研修レポート 作成
	プロジェクトアプライザル (ケーススタディ, インドネシア)		"	
	最終エバリュエーション		"	

